



「TEPPAN」専用サイトのトップページ
発・運用および業務改善コ
ンサルなどを手掛ける。
CCをはじめとする鉄鋼
流通・加工業における配送
業務は、個別企業ごとに作業がまちまち
で、しかも伝票や手配書など紙媒体も多

藤澤鋼板(社長・藤澤丈氏)と別府スリッター(社長・櫻井竜児)は平ボディ、加工内容が多岐多
間でも取り取りできるのはもちろん、紙やエクセルで出力できるので
自社の配送管理ツールとして活用可能。「TEPPAN」に対応する
る。これらは運送業側に
ケーション開
発・運用およ
び業務改善コ
ンサルなどを
手掛ける。
CCをはじめ
めとする鉄鋼
流通・加工業
における配送
業務は、個別
企業ごとに作
業がまちまち
で、しかも伝
票や手配書な
ど紙媒体も多

藤澤鋼板、別府スリッターら4社

新「物流システム」共同開発

業界特化型プラットフォームに

熱延コイルセンターの(CC)の藤澤鋼板とスリ
ト加工業の別府スリッター、櫻井運輸および物流系ソ
フト開発のネバーマイルの4社が共同で鉄鋼業界の運
送に特化したオーダー&ロジスティクス管理システム
「TEPPAN(てっぱん)」を開発した。CCから
の配送依頼やそれに対する運送会社からの回答や連絡
といった種々の情報が「TEPPAN」上で一括管理
できる仕組み。2月中にも運用を開始する運びで、外
販も手掛けていく。

も共通するだけに、双
方の問題解決に向けて
業界に精通したソフト
開発企業と連携し、約
1年間を費やして特化
型システム「TEPPAN」(https://teppan
nevermile.co.jp/)を
4社共同で開発した。
配送依頼をデータ化
し、そのデータを企業
間でやり取りできるの
はもちろん、紙やエク
セルで出力できるので
自社の配送管理ツール
として活用可能。「T
EPPAN」に対応する
る運送会社とは、シス
テムを介して情報連携
でき、依頼や回答、連
絡が画面上で完結。重
複作業や手配漏れ、人
的な負担やミスなども
大幅に軽減する。業界
特有の重量やサイズの
自動計算もできる。
近く、本格立ち上げ
に入る見通しで、まず
は効率運用で実績を重
ねつつ、並行して当該
企業への普及促進にも
力を入れていく考え。

レーザ溶接

(株)インスマタル
Insmetal TEL 047(355)6511

藤澤鋼板・別府スリッターなど4社

配送管理システム開発



別府社長



藤澤社長

約1年前にコイルセ
ンターの藤澤鋼板、各
種コイル加工を行う別
府スリッターと、両社
と取引のある櫻井運輸
(本社＝東京都江東区、
櫻井隆社長)が配送管
理のDX(デジタルト
ランスフォーメーショ
ン)につながるシステ
ムを共同開発すること

鋼材輸送に特化

来月から
受付開始

藤澤鋼板(本社＝千葉県浦安市鉄鋼通り、藤澤丈社長)と別府スリッター(本社＝千葉県
浦安市港、別府竜児社長)はこのほど、運送業の櫻井運輸、システム開発のネバーマイルと
4社共同で、鉄鋼業界の運送に特化した配送管理システム「TEPPAN(てっぱん)」を開
発した。重量計算や分割配送などの鉄鋼業界特有のニーズに対応しているのが特長で、運送
会社とのやり取りや台積み可否の確認などもシステム上で完結でき、配送管理の効率化を
実現する。2月から利用受付を開始予定。将来的には、鋼板以外の鋼材輸送にも対応していく
(藤澤社長) 計画だ。

で一致。その後、物流
系ソフトウェアに強い
システム会社のネバー
マイルを加え、各社の
実務者も交えて開発を
進めてきた。
TEPPANではシ
ステム上で運送会社に
配送を依頼でき、依頼
後の回答や配送状況の
確認も随時行え、ファ
クスで送った発注書を
探す手間や時間の省略
につながるほか、リピ
ート注文も容易だ。
データ化した配送情
報は紙やエクセルデー
タとしても出力できる
ため、取引先の運送会
社がTEPPANに未
対応でも自社のみでの
利用は可能。庸車の利
用が少なく、自社便が

修を進め、鋼板以外の
鋼材の配送にも対応し
ていく方針。利用者の
拡大を図り、「TEPPAN」
を浦安鉄鋼団地、
鉄鋼業界のスタンダー
ドにしていきたい。
(同)としている。

建材管グループ
パイプ在庫
ホワイト
麻布成形株式会社
ISO9001/14001 認証取得
TEL 047-353-9100
http://www.az-azabu.com

多い企業でも「社内の
配送管理の効率化に役
立てられる(同)。手書
き運用による転記ミス
や二重入力の防止にも
寄与する。
今後機能追加や改